



【第5回 企画会議】

- 日時：令和7年12月3日（水）10:00～11:00
- 場所：仙台市立通町小学校 会議室
- 参加者：柏木市民センター、通町小サポーターズ
通町小学校、青葉区中央市民センター
- 活動内容
 - ・今年度の活動の振り返り
 - ・R8年度に向けて

今年度の「防災デイキャンプ 2025in 通町小」イベントは、残念ながら中止という形で終了しました。しかし、振り返りを行ってみると、地域の現状や今後の事業の持ち方のヒントが見えてきました。

～振り返りより～

- ・「親子参加行事にしているのに、保護者にお手伝いをお願いされるのは苦しい」という声があった。
- ・「防災・防犯」というキーワードに魅力を感じて 参加する方は少ない。今年度は、「暗い校舎でお宝さがし」をミッション5に組み込んだが認知が弱かったかもしれない。具体的な内容を知っている企画員さんの周辺での申し込みが目立ったので、おそらくお楽しみ系のミッションに惹かれての申し込みだろう。「防災・防犯」の意識を大切にしつつ、お楽しみをどこかに盛り込んで参加してもらえるようにしたい。
- ・PTA行事での保護者ボランティア招集にも苦戦している。PTA役員になると、日中のこどもたちの様子が見られることや先生とも何気ない話から情報収集できる、大人の知り合いが増えるなど、よい思いをしたから現在役員をやっている。「役員をやるといいんだよ」と伝えていきたい。
- ・イベントを実施する直前での中止だった。今年度の計画でまずはやってみたい。

ということで

R8年度は、R7年度の企画内容でまずは実施することを目標に進めることになりました。日時、募集の方法については、R8年度の地域行事や学校行事が決まる3月頃にはお伝えできると思います。





【第4回 企画会議】

- 日時：令和7年10月23日（水）10:00～12:00
- 場所：仙台市立通町小学校 会議室
- 参加者：柏木市民センター、通町小サポートーズ
通町小学校、青葉区中央市民センター
- 活動内容
「防災デイキャンプ 2025in 通町小」イベント実施に向けての話し合い
 - ・当日の流れの確認
 - ・防災ミッション2「ロープ結び」
 - ・防災ミッション5「暗い校舎で宝さがし」

11月8日（土）のイベントに向けて、最終確認の会となりました。昨年度は、暗い校舎で防災謎解きをしました。防災クイズや担架づくり、防災グッズ探し、煙の中を抜け出すなど、様々なミッションに挑戦しました。今年度は、暗い校舎で宝探しをします。様々な活動よりも、暗い校舎を歩いてみる経験を大事にしたからです。

東日本大震災のときを振り返ると、家明かりだけでなく、街灯も信号の明かりも消え、真っ暗な中家路を急いだり、真っ暗だからこそ月や星の明かりの偉大さに気づいたりしました。いざというときのために非常電源が備えられているものの、暗い中を一度は歩いてみることも大切な経験です。当日はヘッドライトの明かりをたよりに、親子で暗い校舎の中を探検しながら、宝探しをしてもらいます。

物品の準備も着々と進んでいます。ヘッドライトに電池を入れて、一つ一つ点灯するかを確認しています。当日は東北福祉大学のボランティアサークル PASS や青葉区ジュニアリーダーも一緒にイベントを盛り上げます。参加者はもちろん、企画員も楽しみながら防災について学べる機会、間違いなしです！





【第2回 企画会議】

- 日時：令和7年8月25日（月）10:00～12:00
- 場所：仙台市立通町小学校 会議室
- 参加者：柏木市民センター、通町小サポートーズ
通町小学校、青葉区中央市民センター
- 活動内容

「防災デイキャンプ 2025 in 通町小」

イベント実施に向けての話し合い

- ・自己紹介
- ・事業の目的や実施に向けての経緯の確認
- ・防災ミッションについてのアイディア出し
- ・協力依頼団体



■ イベントの目的

小学生の親子が協力しながら、災害時に役立つ知識を習得し、技能を高め合い、いざという時の判断力や行動力を育むこと、また親子の絆をいっそう深める機会を提供することを目的としています。

■ 会議内容

今回の会議では、過去の実施状況を振り返りながら、今年度の構成・運営方針について意見を出し合いました。昨年度は、東北福祉大学のボランティアサークル「PASS」に協力を依頼し、“防災レンジャー”の登場を盛り込んだストーリー仕立ての内容で、こどもたちに防災意識を自然と身に付けてもらえる構成となりました。悪の組織に立ち向かうミッションを、参加親子が協力してクリアするという形式は非常に好評で、すでに今年度の開催を心待ちにしているそうです。

■ 今年度の方向性

今年度も、親子でいくつかのミッションに挑戦しながら、防災を楽しく体験的に学べる構成を予定しています。イベントの特性上、具体的なプログラム内容は告知開始の10月上旬までのお楽しみとする方針です。

引き続き、安全かつ有意義な講座運営に向けて、次回以降の会議で詳細を詰めていく予定です。